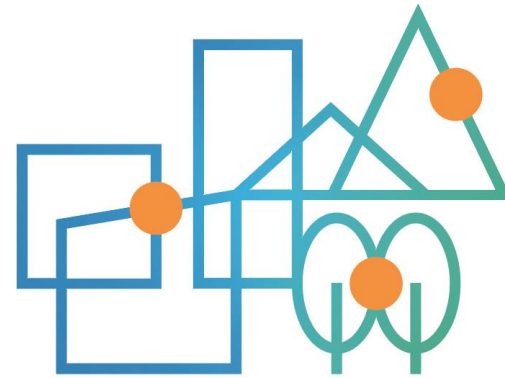


脱炭素先行地域 進捗報告



脱炭素先行地域
千葉市



2026年7月10日（金）

- 「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市を実現するため、2つのエリアと市有施設や一部の店舗等の施設群を先行地域として設定しました。

① グリーン・MICEエリア

(都市エリア 幕張新都心)

- 「幕張メッセ」、「ZOZOマリンスタジアム」、「イオンモール幕張新都心」など、日本有数のMICE施設や商業施設を対象として構成されるエリア
- MICE施設の脱炭素化やナッジを活用した行動変容施策等により、脱炭素ブランディングを確立し、国際会議等の更なる誘致により交流人口を増加

② グリーン・ZOOエリア

(自然エリア 動物公園周辺)

- 「動物公園」、千葉都市モノレールの「動物公園駅舎」と新築のZ E H住宅で構成されるエリア
- 「公園・交通・住宅」という住環境一体で脱炭素化に取り組み、住民生活の質の向上を実現
- 脱炭素化された住環境を提供する本市のシンボリックな存在とし、他エリアに波及させることで定住人口を増加

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

(施設群 市内全域の公共施設、一部の店舗等)

- 公共施設及び店舗など地域に密着した施設が対象
- 再エネの地産地消や脱炭素に向けた行動変容の取組を実施することで、市民参画を促すとともに、啓発活動を推進し、脱炭素への理解や関心を深める。加えて、災害時のレジリエンスを強化

① グリーン・MICEエリア

施設・イベント等の脱炭素化

- ✓ 幕張メッセのLED化
→ R8年度以降、設置を順次拡大予定
- ✓ MICE脱炭素化に対する支援
→ R7補助金採択 = 11件



© 第36回日本臨床スポーツ医学会学術集会 / 会場写真

行動変容の促進

- ✓ 市内イベントにおいて、バイオマス燃料として活用するための割りばし回収を実施

< R7年実施イベント（全3回） >

千葉ロッテマリーンズ ホームタウン千葉市デー（8月）

第50回千葉の親子三代夏祭り（8月）

千葉みなと・さんばしまつり2025（9月）

※ジェフユナイテッド(株)におかれては、R7.6月から、全ホームゲームにて、自主的な取り組みとして割りばし回収を実施中



割りばし回収の様子

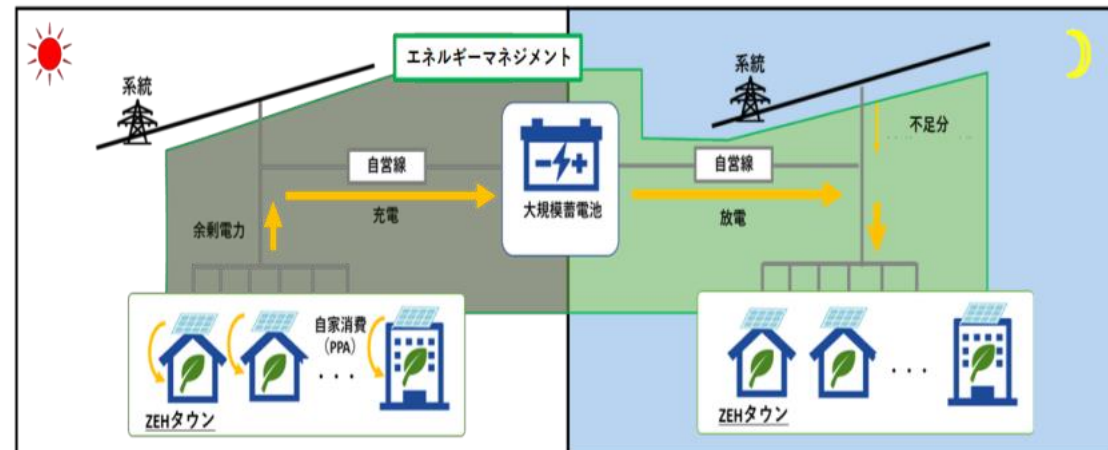


②グリーン・ZOOエリア

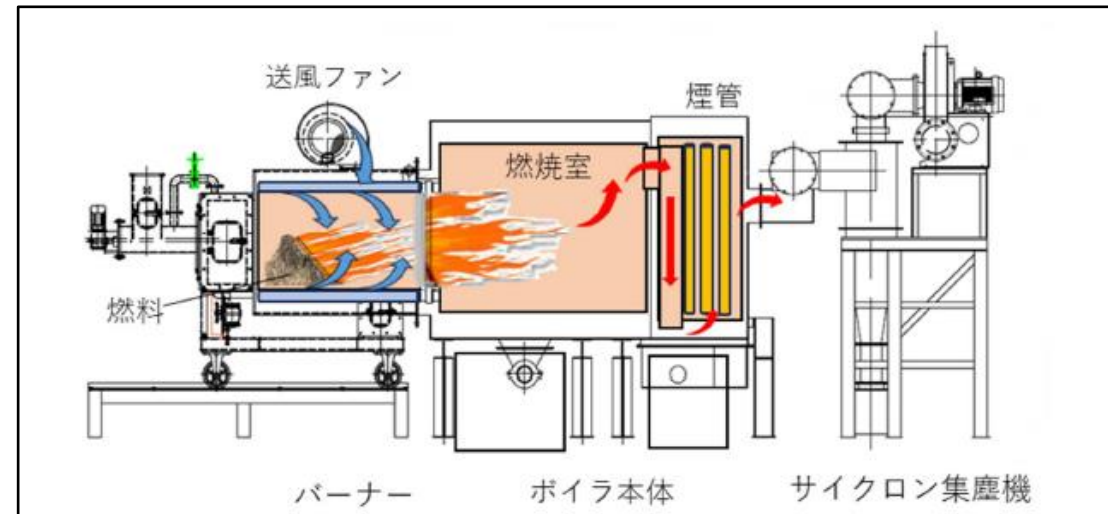
🏠 エネルギーシェアリングタウンの整備

- ✓R7＝開発許可手続・埋蔵文化財調査等を実施
- ✓R8年度より、宅地造成・エネルギーシェアリングの設計に着手予定

エネルギーシェアリング イメージ図
(日中余った電気を蓄電池に貯めて、夜間等に有効活用)



動物公園に導入予定のバイオマス熱ボイラー イメージ図



🌳 動物公園での取組み

- ✓バイオマス熱ボイラーの導入
R6年度～複数年契約による設計・設備導入事業を実施中 (DB方式：R8導入完了予定)

③ グリーン・レジリエント・コミュニティ

市有施設への太陽光発電設備・蓄電池の導入

- ✓R7 = 太陽光発電:509kW、蓄電池:98kWh
※市有施設8か所、オンサイトPPA
- ✓R8年度以降も、設置可能な市有施設に導入を進める



営農型太陽光発電設備の導入

- ✓R7 = 230kW ※オフサイトPPA

公用車のEV化、EV充電器の導入

- ✓R7=電動車57台導入、EV充電器27台導入
- ✓R8年度は、電動車76台導入予定



③ グリーン・レジリエント・コミュニティ



フLOAT型太陽光発電設備の導入

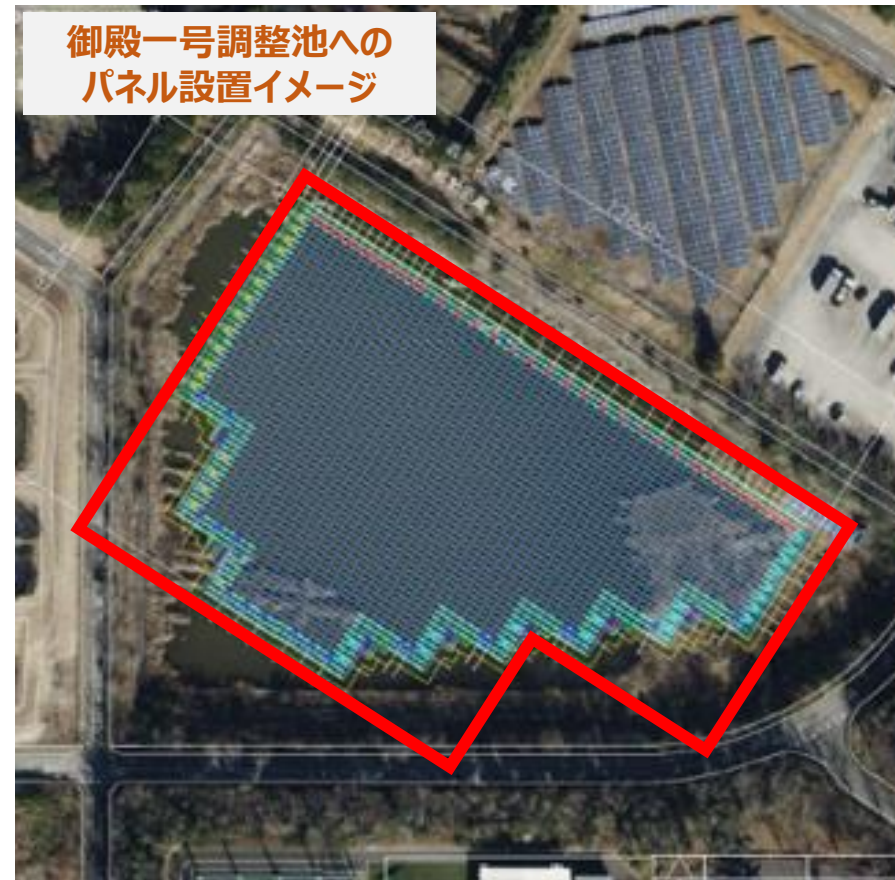
- ✓R7 = 市内調整池（御殿一号調整池）への設置検討
- ✓R8年度から詳細設計等実施



民間施設への太陽光発電設備等設置

- ✓R7 = 店舗の脱炭素化に向けた事業について公募を実施し、事業者を決定
- ✓R8年度から事業化に向けた調査等を実施

御殿一号調整池への
パネル設置イメージ



市有施設の使用電力のゼロカーボン化を達成

✓これまで契約していた一般電力を、太陽光発電によるPPA、清掃工場余剰電力の自己託送、再生可能エネルギーで発電された電力メニューに切り替え、**2026年度**から、市有施設における使用電力の実質ゼロカーボン化を達成しました。

このあと事例紹介で詳しくご説明します。